

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-328204

(43)Date of publication of application : 17.11.1992

(51)Int.Cl.

F21S 3/02

F21P 1/00

F21V 21/08

F21V 23/02

H01J 61/56

H01J 61/76

(21)Application number : 03-095777

(71)Applicant : KASHIYUU INTERNATL TRADING:KK

(22)Date of filing : 25.04.1991

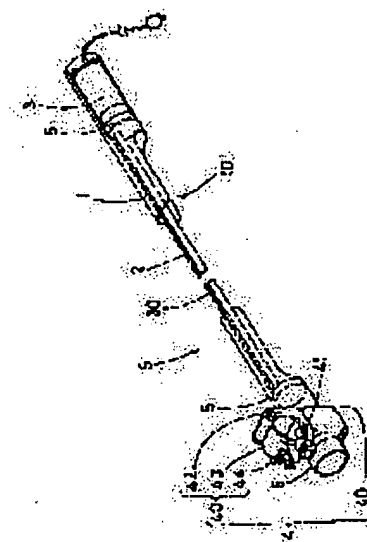
(72)Inventor : OGAWA HIROAKI

(54) DECORATIVE TUBE COMPRISING NEON TUBE

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a decorative tube comprising a neon tube for improving the appearance of a fixation part side (a scaffold to be built at a construction site, frames and scaffolds or the like to be built at an event place and a concert place, and a discotheque or the like).

CONSTITUTION: In a decorative tube S comprising a neon tube 2, a neon tube 2 and a transformer 3, which makes the neon tube emit the light appropriately, are housed in a hard cylindrical body 1. An opening 10 is provided at a construction wall part of the cylindrical body 1 corresponding to an arrangement area of the neon tube 2, and while a fitting tool 4 for fitting the decorative tube S to a fixation part easily to fit and disconnect is comprised in the cylindrical body 1. Appearance of the fixation side is improved.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-328204

(43) 公開日 平成4年(1992)11月17日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
F 2 1 S 3/02	Z	7913-3K		
F 2 1 P 1/00	Z	8715-3K		
F 2 1 S 3/02	D	7913-3K		
F 2 1 V 21/08	B	2113-3K		
23/02	Z	2113-3K		

審査請求 未請求 請求項の数7(全 5 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平3-95777

(22) 出願日 平成3年(1991)4月25日

(71) 出願人 590000710

株式会社加州インターナショナルトレーディング

大阪府豊中市寺内2丁目14番7号

(72) 発明者 小川 裕章

大阪府豊中市寺内2丁目14番7号 株式会社加州インターナショナルトレーディング内

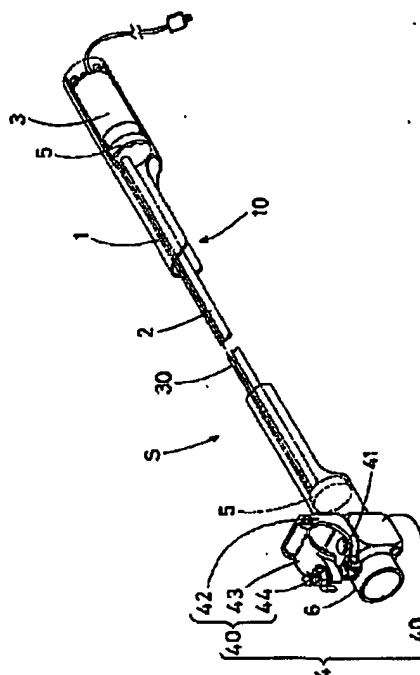
(74) 代理人 弁理士 辻本 一義

(54) 【発明の名称】 ネオン管を具備した装飾管

(57) 【要約】

【目的】 固定部（建設現場で組まれる足場、イベント会場やコンサート会場、ディスコ等において組まれる架台や足場等）側の見栄えを向上ならしめるネオン管を具備した装飾管を提供すること。

【構成】 ネオン管を具備した装飾管に関し、硬質の筒状体内に、ネオン管及びこれを適性に発光状態ならしめるトランスを収容させたものであって、ネオン管の配設域と対応する筒状体の構成壁部分に開口を設けると共に、固定部に着脱容易に取付ける為の取付具を前記筒状体に具備させている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 硬質の筒状体内に、ネオン管及びこれを適性に発光状態ならしめるトランスを収容させたものであって、ネオン管の配設域と対応する筒状体の構成壁部分に開口を設けると共に、固定部に着脱容易に取付ける為の取付具を前記筒状体に具備させてあることを特徴とするネオン管を具備した装飾管。

【請求項2】 筒状体が、鋼管により構成されていることを特徴とする請求項1記載のネオン管を具備した装飾管。

【請求項3】 固定部が、型鋼材により構成されていることを特徴とする請求項1記載のネオン管を具備した装飾管。

【請求項4】 固定部が、壁面であることを特徴とする請求項1記載のネオン管を具備した装飾管。

【請求項5】 固定部が、建設現場で組まれた足場としたことを特徴とする請求項1記載のネオン管を具備した装飾管。

【請求項6】 筒状体相互を連結する為の着脱容易な固定具を具備したことを特徴とする請求項1記載のネオン管を具備した装飾管。

【請求項7】 ネオン管は筒状体内に収容させた弾性ブッシングにより支持されていることを特徴とする請求項1又は2記載のネオン管を具備した装飾管。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この出願の発明は、ネオン管を具備した装飾管に関するものであって、建設現場の足場、架台、壁面に取付けることによってこれらの美化を図ることができるものである。

【0002】

【従来の技術】家屋やビル等は、基礎上に複数の支柱を立設すると共に前記支柱相互を横梁で繋いで基本的構造体を完成させ、その後において前記基本的構造体の外周部に組まれる足場を利用して細部（子梁や外装等）を最終仕上げするようにしている。ところが、完成した家屋等は美しいものの、建設途中における現場は付近の美化を損なうものとなっており、特に、足場が組まれた状態の外観は醜いものとなっていた。

【0003】他方、イベント会場やコンサート会場、ディスコ等において組まれる架台や足場等についても上記と同様の問題を有している。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】そこで、この出願の発明に係るネオン管を具備した装飾管は、上記従来の課題を解決することを目的としてなされたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】この出願の発明に係るネオン管を具備した装飾管は、硬質の筒状体内に、ネオン管及びこれを適性に発光状態ならしめるトランスを収容

させたものであって、ネオン管の配設域と対応する筒状体の構成壁部分に開口を設けると共に、固定部に着脱容易に取付ける為の取付具を前記筒状体に具備させている。

【0006】尚、上記筒状体には、これら相互を連結する為の着脱容易な固定具を具備させることもでき、他方、ネオン管を筒状体内に収容させた弾性ブッシングにより支持させることもできる。又、上記固定部は、鋼管等の型鋼材や壁面でもよく、具体的には、例えば建設現場で組まれた足場のようなものでもよい。

【0007】

【作用】この出願の発明は次の作用を有する。このネオン管を具備した装飾管を、取付具を利用して固定部（建設現場で組まれる足場、イベント会場やコンサート会場、ディスコ等において組まれる架台や足場等）に取付け、ネオン管を発光状態ならしめると、固定部側の見栄えは向上したものとなる。

【0008】そして、筒状体に具備させた取付具や固定具を利用すると、ネオン管を具備した装飾管が自由な姿勢で取付けることができることから、多数の装飾管Sを使用すると、大きな固定部（建設現場で組まれる足場等の大きなもの）を所謂キャンバスとして前記装飾管により文字や絵が描けることとなる。尚、上記取付具は固定部に対して、固定具は筒状体相互について、それぞれ容易に着脱できるものとしてあるから、前記の如くの組立が容易であり、且つ、分解についても容易であるものとなる。

【0009】又、ネオン管を筒状体内に収容させた弾性ブッシングにより支持させた場合には、硬質の筒状体を介した外部からの衝撃に対してネオン管に伝わる衝撃力は小さなものとなる。

【0010】

【実施例】以下、この出願の発明の構成を実施例として示した図面に従って説明する。この実施例のものは、建設現場において組まれる足場に取付ける為の装飾管（以下、装飾管Sという）であり、図1及び図2に示すように、硬質の筒状体1内に、ネオン管2及びこれを適性に発光状態ならしめるトランス3を収容させると共に、前記筒状体1におけるネオン管2の配設域と対応する部分に開口10を設けている。そして、前記筒状体1の端部（一方端に限定されず両端でもよい）に、装飾管Sを足場に取付ける為のクランプ4を具備させている。

【0011】筒状体1は、約1.5mの鋼管（SGP50A）により構成されており、図1に示すように、その構成壁に長さ1m×幅4cm程度の開口10を形成させてある。ネオン管2は、長さ1.2m、直径12mm程度のもので、同図に示すように、その両端部は上記筒状体1内に収容した弾性支持体5（ウレタンゴムにより構成されている）により安定した状態で支持されている。

【0012】トランス3は、その内部において結露しな

いような構造としてあり、図1に示すように、上記筒状体1の内径よりも少し小さい径の円柱形とすると共にその容量を8W、0.8Aとし、コンセントを介してそのまま家庭用電源が使用できるようにしてある。尚、上記したネオン管2とトランス3とは適性に電気配線してあり、上記開口10部分を通過する配線30についてはネオン管2の後方側に位置させてある。

【0013】クランプ4は、同図に示すように、二つの単位クランプ40、40を相互に回転できるように一本のピン41により支持させて構成したもので、各単位クランプ40は、同図に示すように、断面略し字状に形成された基体42と、この基体42に揺動自在に取付けられた揺動体43と、基体42側に揺動自在に取付けられ且つ基体42と前記揺動体43との締付けを行わせしめるボルト・ナット44とから構成されている。したがって、前記ボルト・ナット44の調節により、クランプ4の筒状体1自体からの取外しや位置の変更が容易にでき、又、足場Aを構成する鋼管aからの着脱が容易にできることとなる(図2参照)。

【0014】又、この実施例では、特に、図1に示す如く、筒状体1の開放端部から固定具6となる円柱体又は円筒体を突出させてあり、図2に示すように、この固定具6における筒状体1からの突出部分を、相手側筒状体1の開放部に挿入すると、他の装飾管Sと容易に接続できることとなる。この実施例の装飾管Sは上記のように構成されているから、クランプ4を利用すると、足場Aを構成する鋼管aと平行に又は直角に取付けることは勿論、あらゆる姿勢(図2参照)で取付けることができることとなる。そして、多くの装飾管Sを使用すると、建設物の外周に組まれた足場Aを大きなキャンパスとして、図3に示すように、文字(絵も可能)を描くことができる。

【0015】したがって、上記の如く取付けられた多数の装飾管Sを発光状態にすると、暗くて汚いという建設現場のイメージを一掃することも可能であり、建設会社の名称を描くことによりコマーシャルとして利用することもできる。尚、上記実施例のものは、装飾管Sを建設現場で組まれる足場Aに使用するものであるが、これに限定されることなく、イベント会場やコンサート会場、ディスコ等において組まれる架台や足場等についても同様に使用できる。

【0016】又、この装飾管Sは、ブティック等他の室内に使用することができ、具体的には、筒状体1の一端に取付具を設け、この取付具を利用して壁面から突出させる態様で取付けるようにしてもよいし、又、図4に示すように、販売品90を展示する為の棚9に取付けるようにしてもよい。

【0017】

【発明の効果】この出願の発明は、上述の如くの構成を有するものであるから、次の効果を有する。作用の欄に記載した如く、固定部(建設現場で組まれる足場、イベント会場やコンサート会場、ディスコ等において組まれる架台や足場等)側の見栄えを向上せしめることができ、又、前記固定部が広範囲の場合にはそれを所謂キャンパスとして前記装飾管により文字や絵が描けることとなるから、前記効果以上に美的向上を図ることができることとなる。

【0018】そして、この装飾管は上記した固定部への組込・分解及び筒状体相互の連結・分解が容易であるから、使用後において他の場所への移動が容易なものとなる。又、ネオン管を、筒状体内に収容させた弾性プッシングにより支持させた場合には、硬質の筒状体を介した外部からの衝撃に対してネオン管に伝わる衝撃力は小さなものとなるから、破損率は低いものとなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明のネオン管を具備した装飾管の全体斜視図。

【図2】前記装飾管を足場を構成する鋼管に取付けた状態を示す図。

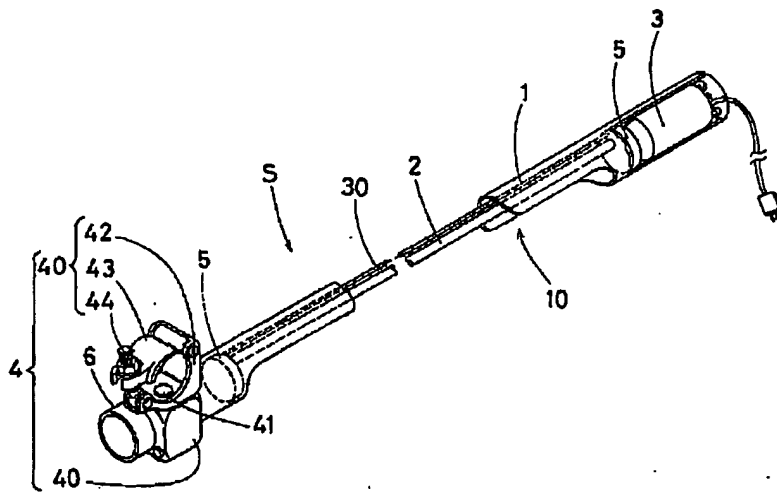
【図3】前記装飾管を利用して足場に文字を描いた状態を示す図。

【図4】前記装飾管を他の場所で使用した場合の実施例の説明図。

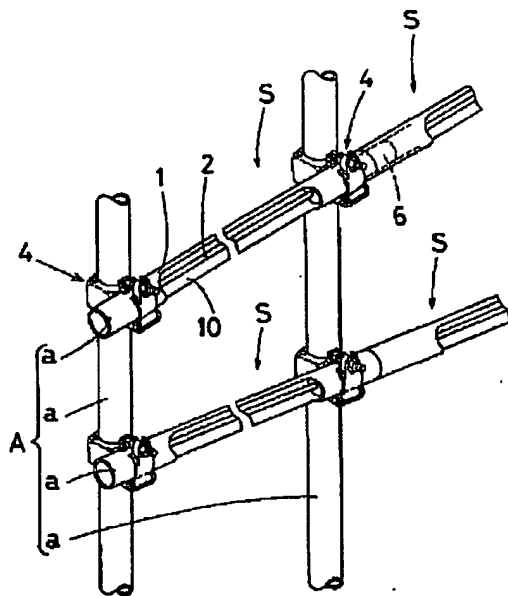
【符号の説明】

- S 装飾管
- 1 筒状体
- 2 ネオン管
- 3 トランス
- 4 クランプ
- 5 弾性支持体
- 6 固定体

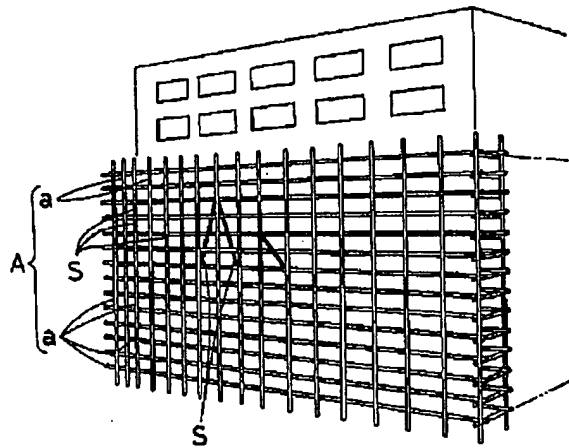
【図1】



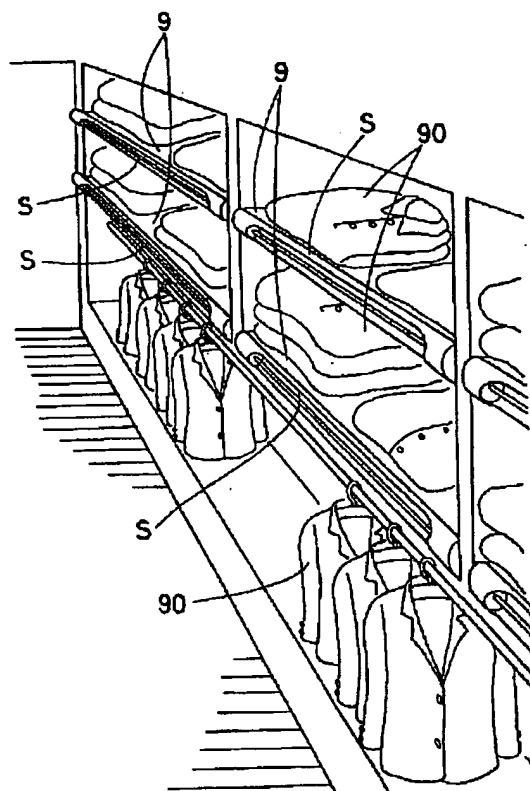
【図2】



【図3】



【図4】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁵

H 0 1 J 61/56
61/76

識別記号

片内整理番号

F I

技術表示箇所

N 8019-5E
8019-5E